

## 例題

直線 1 に対して点 P を通る平行な線分を描いてください。

直線 1

°P

## 解答例 (コンパスと定規で作図)

【コンパスと定規で作図】する場合と【AutoCADで作図】する場合  
を同じ手順で図解で示しています。チャレンジしてみましょう！

線分 1 上に点 A をとります。①



点 A を中心とした、半径 AP の円 A を描きます。②

円 A と直線 1 との交点を B とします。



半径を、AP の距離として点 B を中心として円 B を描きます。③



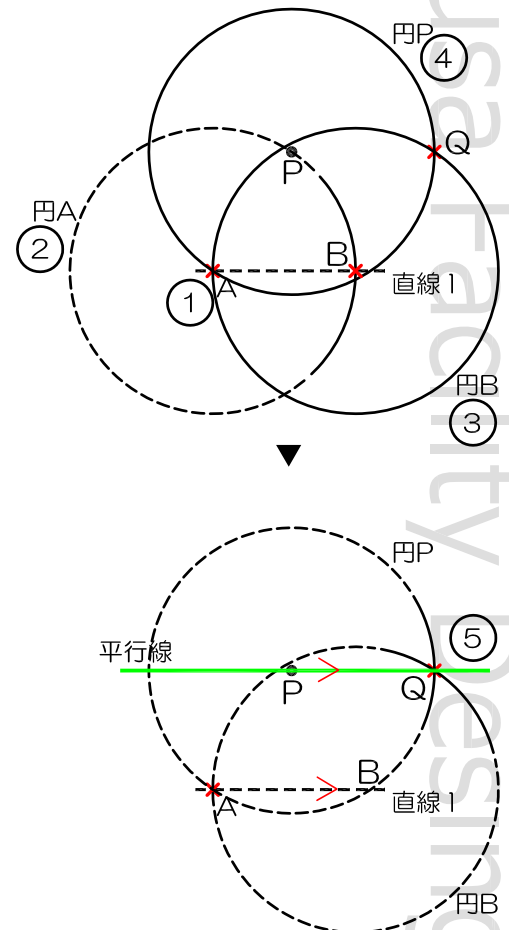
半径を、AP の距離として点 P を中心として円 P を描きます。④

円 P と円 B との交点を Q とします。



点 P と点 Q を通過する直線を描きます。⑤

直線 1 に平行な線を描くことができます。



幾何 012 線分を移す

幾何 013 角を移す

幾何 014 線分の垂直二等分線を描く

幾何 015 角の二等分線を描く

幾何 016 直線に垂線を描く

幾何 017 直線外の点から垂線を描く

幾何 018 平行線を描く の再学習をしてきました。

次回からは、基本作図を組合わせて処理する方法を説明していきます。

## 例題

直線 1 に対して点 P を通る平行な線分を描いてください。

直線 1

°P

## Autocadで作図

【コンパスと定規で作図】する場合と【AutoCADで作図】する場合を同じ手順で図解で示しています。チャレンジしてみましょう！

①：直線 1 上に任意の点 A でクリックします。



②：円を描く（距離 AP を半径とする）

コマンド：[作成] ⇒ [円]

円の中心点を指定：点 A までカーソルを移動してクリックします。

円の半径を指定：点 P までカーソルを移動してクリックします。

作図された円を円 A とします。

円 A と直線 1 との交点を B とします。



③：円を複写する

② で作図した円 A を選択します。

コマンド：[修正] ⇒ [複写]

基点を指定：点 A までカーソルを移動してクリックします。

目的点を指定：半直線 1 の点 B までカーソルを移動してクリックします。

円 A と円 B との交点を Q とします。



④：円を複写する

② で作図した円 A を選択します。

コマンド：[作成] ⇒ [構築線]

点を指定：点 A までカーソルを移動してクリックします。

通過点を指定：点 P までカーソルを移動してクリックします。

円 B と円 P との交点を Q とします。



⑤：平行線を作図する

コマンド：[作成] ⇒ [構築線]

点を指定：点 P までカーソルを移動してクリックします。

通過点を指定：交点 Q 位置までカーソルを移動してクリックします。

直線 1 に平行な線を描くことができます。

